

物流を支える重要な道路

秋田自動車道が全国的高速道路ネットワークと接続することにより、**輸送効率が向上し、納品までの時間を短縮。秋田県産品を国内外へ輸送が可能になるなど、重要な役割を担っています。**

■ 秋田自動車道を利用した輸送



《北上金ヶ崎IC付近に立地する大規模倉庫》

近年、輸送効率化を実現するため、秋田自動車道と東北自動車道が分岐する最寄りのICで物流倉庫が多数立地。全国の物資が集結するなか、秋田県内を中心とした物流は秋田自動車道が利用され、各地へ輸送することを実現。

DPL岩手北上Ⅲ(2021年9月竣工)



DPL岩手金ヶ崎(2022年9月竣工予定)



出典: 大和ハウス工業株式会社

《秋田県・ヤマト運輸・ANA Cargoの連携協定》

2016年3月、三者が「県産品の国内外への販路拡大に向けた連携協定を締結。

それぞれが有する資源やノウハウを有効活用することにより、県産品を関東や西日本の大消費地へは翌日午前中に、海外へは東アジアへ最短翌日にお届けするなど、県内事業者の販路拡大に向け、連携した取り組みを実施。



出典: 秋田県、ヤマト運輸(株)、ANACargoプレスリリース(2016年3月)

《運送会社の声》



秋田自動車道のおかげで、秋田発の産直品などを国内主要都市に時間短縮をしてお届けすることが可能となりました。また、秋田県内での当日輸送など、付加価値を生み出しています。

出典: 2022年ヒアリング調査